



KANAIWA ONO  
ART PROJECT

# 金石スタジオ 通信

12

金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)の活動の拠点となっている金石スタジオ(金石松前町1番16号)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

AIR  
アーティスト・  
イン・レジデンス

## 村上慧

【近況報告】



金石のみなさんこんにちは。二〇二〇年十月頃から二〇二一年三月まで金石スタジオに滞在し、三月末には「Little Cinema Project」という企画をCan Tamuraさんや内田涼さんと共同でやらせてもらった村上慧です。まだ生きています(コロナ禍がきつかけだと思っんですが、最近時間の感覚が狂っているの

で、へしこを毎日のようにつまんでいたあの日々がもう一年前のことだなんて信じられません)。そちらはもうすっかり冬、という感じでしょうか。冬支度は済みましたが。私はいま東京で、こちらもだいぶ寒くなってきましたが、まだ広葉樹の葉は落ちきっておらず、日差しにはまだ秋が残っています。

今年の十一月は移動が多く、頭には札幌に行き、中旬は京都で過ごし、末には秋田に行きました。札幌や秋田の気候はもう冬でしたが、京都は紅葉シーズンで、ちょっと用事があったり嵐山方面の電車に乗った際は人手の多さに面食らいました。

さて、最近の活動について書いて欲しいとのことなので、ひとつこの秋に珠洲で行ったプロジェクトのことを記そうと思います。近年では久々に長く感じられた今年の秋でしたが、私はそのほとん

どを能登で過ごしていました。九月から十月にかけてのほぼ二ヶ月間、珠洲市に滞在して「奥能登国際芸術祭2020+」に参加していました(昨年の冬に一ヶ月ほどかけて能登半島を歩いた際は、雨と雷と雪と雹と風が一日で全部体験できるほどの目まぐるしい気候に四苦八苦でしたが、秋の能登は風も日差しも広い空も気持ち良くて、ある意味では楽園のような土地だと思いました。



奥能登国際芸術祭2020+《移住生活の交易場》

私はその芸術祭の中で、発泡スチロールで作った家を肩に担いで移動生活をするプロジェクト(詳しくは福音館書店から刊行されている書籍「家をせおって歩く」をご覧ください)についての展示《移住生活の交易場》を行いました。

ここで私は店番として、能登の移動生活の道中で拾った石や貝殻やゴミなどを瓶に詰めて売っていました。例えば小さな石粒ひとつ三十円とか、一七五〇円とか、かなりばらつきのある値段をつけていました。

この値段の根拠は私の生活費でした。珠洲市で滞在しながら出たレシート(スーパーの食品代とか、居酒屋での酒代とか)の金額を拾ったモノにつけていました。

購入者はその拾ったモノに加えて、それが落ちていた場所の写真と、その値段の根拠となったレシートがもらえるという仕組みです。全部で五十点ほど出品し、私としては芸術祭会期中に二つか三つ売れば良いなと思っていましたが、終わってみれば四〇点以上が売れました。

店に来る人の反応がそれぞれ面白くて、例えば「こんな

石ころのどこに千円の価値があるん?」や「こんなものによく値段つけられるな」と言う人もいたかと思えば、逆に普段からアートギャラリーなどを見てまわっている人はこれらを芸術作品として捉え、「こんなに安く売って帰ったりしていました。」

この「拾ったモノショップ」の隣では、僕の絵をプリントしたTシャツやポストカードやトートバッグなども売っていたのですが、そちらの売り物に関しては、例えば「このバッグのどこに千円の価値があるん?」と言われることはありませんでした。この違いはどこから来るんだろう、なぜ落ち葉を千円で売っている



拾った物を生活費と交換するSHOP

と違和感があり、バッグを千円で売っていると違和感が無いのだろうかと思えました。お金に関してNHK出版から出ている『エンデの遺言』という本がとても面白いのでぜひ興味のある方は読んでみてください。



販売していた木の棒

世に出回っているモノの値段や、そもそもお金とは何なのかとか、たまに考えるのも面白いと思えました。お金に関してNHK出版から出ている『エンデの遺言』という本がとても面白いのでぜひ興味のある方は読んでみてください。

## PP

パブリック・プログラム

## 金沢のスターボックス

今年五〜七月にかけて行われた金沢のスターボックスと淀川テクニクによるアートプロジェクトでは金石海岸に打ち上げられた漂流物と不要になった九谷焼を使い、アート作品を作成

しました。材料となる漂流物を集めるために、金石益壮会が行う、はま掃除(砂浜のゴミ拾い)にスターボックスのスタッフと一緒に参加しました。アート作品が完成した後にも継続して参加し、七ヶ月が経ちました。活動を通して感じたことを参加者にうかがいました。



### 【参加者からのコメント】

千代謙一(金石益壮会会長)

はま掃除にたくさんの方に参加してもらい感謝しています。いつも老人だけでやっているの、若い方と一緒にいるとパワーをもらえます。昔、金石の海は本当に綺麗で、海水浴場や浜茶屋もあり賑わっていました。今は広大な土地が広がっていますが、これをどうするか。次の世代に期待

しています。

河合真紀子(スターボックス

コーヒー 金沢百番街Rinto店)

自分の地元は自分で守るといふ益社会の皆様のご心遣いを感じ、五月より参加させていただき、回を重ねるごとに浜が綺麗なることを感じました。自分たちの日常的な行動をどう変化させていくか、考えさせられ、貴重な経験になりました。本当にありがとうございます。

清水啓太(スターボックス

コーヒー 金沢野々市店)

どこか他人事でしたが、目の当たりにしたことで身近な人へ積極的に呼びかけています。月一のペースが負担にならず若い学生たちは一種のイベントとして楽しんでいきますし、地域の方々に受け入れて頂いていることも嬉しいです。今後も継続的にこの活動に参加していきたいです。

★金沢のスターボックス×淀

川テクニク「金沢じいトリ

ドリ」

場所…スターボックスコー

ヒー 金沢百番街 Rinto 店(金

沢市木ノ新保町1-1 金沢百

番街 Rinto 1 階) ※金石ス

タジオで制作した作品を店内

にて常時展示中

## 週末コタツ

12月3月頃実施



はま掃除に参加したスターボックスの皆さん

金石スタジオに週末だけコタツが現れる「週末コタツ」。毎年たくさんの方が温まりに来てくれます。参加者にはコタツに初めて入るといふ方や、自宅にコタツがないから懐かしいという声も聞きます。ついついだらけてしまうコタツですが、たまにはそんな時間を過ごすのもいいんじゃないでしょうか。金石スタジオは寒いので防寒対策をしてお越しください。

実施日: 毎週土曜日 & 第2・

4日曜日(予定) 13〜17時

場所…金石スタジオ

※詳細はFacebook / Instagram 「週末コタツ」で検索

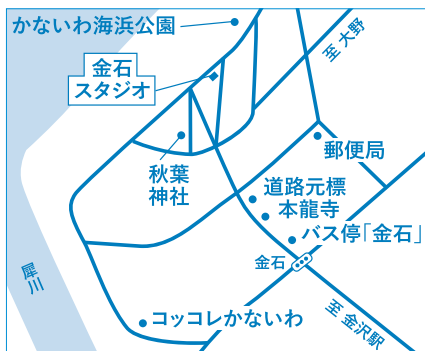


### 金石スタジオ

金石松前町1番16号

バス停「金石」から歩いて5分、海岸通り沿いです。公共交通機関や徒歩、自転車などをご利用ください。

スタッフ常駐は、毎週土曜の14時〜17時です。



金石スタジオ  
情報発信中



Instagram



facebook